

FA^{【エフ・エー】}**-School**

幼児～小学生 / 音読と数理思考力教室

移転後の外観イメージです（東南角206号室）



主な方針

- 読み書き計算の基礎～音読の定着
- 目と指先と脳の共応
- 試行錯誤の成功体験を多く持つ
- 作図を通して思考力を養う
- 数理的な読解力を高める
- すじ道を立てて論理的に問題解決する

幼児は
できるだけ、五感を使って、
目と手と頭が同時に動くように...をめざします
そうして「できるようになった！」
を、いっぱいふやしていきたい...と考えています

そのために、いろいろなことをします

- 指先(お箸・紐通し・結び・はさみ・折り紙等)
- 運筆(たて・横・曲・丸・ジグザグ・波・角線諸々)
- 数と形(図積木計数・回転・重・移動視覚諸々)
- 算数的思考力(順列・迷路・ひと筆がき諸々)
- 試行錯誤(平面・立体パズル・切り合わせ)
- 語彙(詩・俳句・ことわざ・慣用句等の音読)
- 言葉遊び(同じ字のつく言葉・しりとり・なぞなぞ)
- リズムゲーム(リズム打ち・手遊び・お手玉諸々)

小学生低学年では、
「読書三到を伝えたい！」
一人一人が、自分の力で、正しく、
文章を読めるようになることが、
思考力の第一歩です
読書三到の心を、精いっぱいお伝えします
(想像力・読解力がつきますように...)

そのために...

- 読み書き(文が正しく読めなければ書けなければ何も始まらない)
- 語彙をふやす(いろいろな言葉を知らないと想像できない)
- 基礎計算力(いくら解への筋道がひらめいても計算ができないと解にたどりつけない)
- 文章題練習(文章題を読み、筋道を立てて考えようとするすると読解力もついてくる)
- 論理と数理的思考力は少しずつ
- ものの理(観察画・立方体見取り図・作図)ものの不思議(工作実験・折り紙)

小学生中学年は、
自分の読解力・理解力をもとに、
筋道を立て深く考え、解にたどりつく
成功体験をともに増やそう！
「読書・算数は楽しんだ者勝ちだ！」

そのために...

- 読書(読書は、言葉や文の世界で遊ぶことです)
- 語彙をふやす(何となく生活していても語彙は増えません意識してふやすもの)
- 乗除の筆算(積木を一つ一つ積み重ねている作業と同様に筋道をたてて行わなければ筆算嫌いになります)
- 文章題(筋道を立てて思考をすすめていく為作図・式の組立力をつけましょう)
- 論理と数理的思考力(直感は)
- ものの理(観察画・立方体見取り図・作図)
- ものの不思議(数理工作・折り紙・実験)